

ひいらぎ

2 月 号

発行：平成26年3月5日（水）

文責：諏佐 一夫

新入生オリエンテーション



2月18日（火）は新入生オリエンテーションでした。4月に入学予定の小学6年生が、授業の様子を見学したり（写真右）、学校の中を見て回ったりしたあと、保護者と一緒に説明を聞きました。私からは、「みなさんの入学を楽しみに待っています。『学校にくるのが楽しくてしょうがない』と思ってもらえるような学校にしていきたい」と話しました。

最後に、会場の多目的ホール2階ギャラリーに1・2年生が並び、生徒会長のあいさつに続いて、校歌を披露しました（写真左）。ホールいっぱいに響き渡るハーモニーに、会場の新入生はもちろん保護者の方々も魅了されているように見えました。

生徒会総会



2月21日（金）、後期生徒会総会が行われました。

5月の前期総会の際は出張で留守にしていたので、私は今回初めて見せてもらいましたが、質問をする人も答える人も、「東中をよりよくするにはどうしたらいいか」というテーマのもとに、しっかりと自分の意見を発表していることに感心しました。

特に3年生は、自分の質問に下級生が困っていると、「こうしたらいいじゃないの」と助け船を出したりして、卒業後の東中をよろしくという気持ちがあちこちに出ていて、とてもほほえましく感じました。1・2年生も、自分たちが中心になってやってみて、またひとつ成長できたようです。

1・2年 期末テスト



2月17日（月）、18日（火）の2日間は、今年度最後の定期テストでした。

2学期の終業式に、福沢諭吉の「学問のすすめ」の話をしました。「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず」という言葉が有名ですが、そのあとに続く次の文章がこの本で福沢が言いたかったことだという内容でした。

「みんな平等であるけれど、必ず賢者と愚者が出てくる。人間には違いが出てくる。賢き者と愚かな者。その違いが出る最大の原因は何か。それは、学問を修めるか、否かにある。勉強をして学問を修めている者は、賢き者になって活躍するであろう。しかし、学問をおろそかにして勉強しない者は、愚か者のままで終わるであろう。だから、皆さんしっかりと学問を修めようではありませんか」

第3学年保護者会



2月28日（金）今年度最終回となる第3学年保護者会が行われました。私からは先日の生徒会総会での3年生の様子をお話ししたあと、全員が第一志望に合格できることを願っているの、最後までしっかり寄り添ってあげていただきたいと話しました。

お忙しいところ、ありがとうございました。

頑張れ 受験生！